

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 3日

## 【目標達成計画】 外部評価

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	外部の方々にも職員の名前を覚えてもらうようにしたい。	外部の方々にさくらの職員の顔が分かる。	年4回発行している広報に職員の写真を掲載する。	1ヶ月
1	7	不適切なケアとは何か？その具体的な事柄の認識が各人の感覚によるところが大きく、ユニットとして望ましいケアの共有ができていない。	良いケア、目指すべき方向性を全員が同じ認識で理解し実践できている。	認知症ケアのランク付けを各場面ごとにチームで作成する。年3回ユニット会議にて実施する。(12・6・10月)	12ヶ月
2	18	家事作業を職員中心で行っている。	出来ることへの支援の必要性、家事は入居者とのコミュニケーションツールである事を職員が理解し、家事作業の中心が入居者になっている。	活躍の場が少ない入居者の介護計画にはできる事への支援を盛り込み担当者中心に実施する。	6ヶ月
3	26	カンファレンスの内容が対策、方法のやり方の話し合いになっている。	物事の原因、背景に主軸を置いたカンファレンスが行われている。	ユニットの職員全員が、Eシートを作成することができる。	12ヶ月
4	13	各人の力量に応じた教育ができておらず、自分の考えを持って行動できている職員が少ない。	各人が自分の考え、目標を持って行動できている。	①思っていることを言葉にする②言葉にしたことは行動する③行動したことはやり続け形にする。①～③の段階に分けて個別に指導を行う。	12ヶ月
5	14	役職者以外、同業者との交流が少ない。	他事業所の職員と交流し、意見、情報交換ができそれをサービス向上に繋がられている。	地域のイベント、会議、勉強会に可能な限り役職者以外の職員に参加してもらう。	12ヶ月
6	49	予定以外の活動、支援をできる職員が少ない。	予定がなくても天候等を考慮し、臨機応変に対応ができる。	イベント事などは予定を組まず期限のみを決め職員間で話し合い実行する。	6ヶ月
7	19	ご家族様と関係を築けている職員が少ない。	ご家族様来訪時は、全職員が話をすることができる。	最低限の接遇を身に付け、ご家族様来訪時は、挨拶と一言話をする。	6ヶ月
8	38	入居者様からの訴えに対し十分な傾聴をせず正論で応え説得している。	説得ではなく納得して頂ける関わりができる。	困っている内容をまずは、傾聴し入居者様自身が答えを出し行動するような働き掛けをする。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。